

コンパクトの中に機能性と美を秘めたペーパーグラス

株式会社西村プレジジョン（福井県鯖江市）



薄さ2mmの老眼鏡 ペーパーグラス



収納しやすく機能的で美しい老眼鏡、そんなコンセプトから生まれたペーパーグラス。折りたたむとフラットになり、開くとダイナミックなフォルムが現れる。眼鏡の産地鯖江の職人技と革新的デザインの融合。生活必需品なのに誰も向き合えなかった老眼鏡に華やかさと快適さを同時に実現している。ペーパーグラスは老眼鏡の価値観を一新し、シニアライフの視力による豊かさを創出している。

老眼鏡の価値観を革新

オリジナル老眼鏡「ペーパーグラス」の原型は平成12年頃に西村金属で開発されたもの。従来の老眼鏡は、100円ショップで売られるような安価で壊れやすい消耗品というイメージが強いことに着目し、「耐久性」「携帯性」「ファッション性」をコンセプトに薄さ2ミリのファッション性に富むものになっている。

積極的なブランド戦略もあり、「2013年度グッドデザイン・ものづくりデザイン賞（中小企業庁長官賞）」「Design for Asia Award (DFAA)2014」「DFA Category Awards 2014」Bronze Award」等を受賞。それを契機に認知度が高まり、販売量が増加している。さらに、老眼鏡専門店として直営店を持つなど、老眼鏡のイメージ自体を一新させる展開をしている。

お客さま視点を忘れずさらなる革新

人ペーパーグラスは、デザイン性、携帯性を求めるお客さまの声を実現することによって開発され、支持を得た。その展開の中で「携

帯性の良い眼鏡が必要なのは老眼の方だけではない。」という、今まで顕在化していなかったニーズに気づく。特定のときだけ近視用の眼鏡をかける方、普段はコンタクトレンズだが旅先でのリラックスタイムは眼鏡にしたい方など、老眼鏡用途以外にも「携帯性の良い眼鏡」が必要な方がいることをお客様から教わり、近視用についても展開を始めている。

今後においても、お客さまの求めるものを追求し、道具としての「ウェア」、装いとしての「ウェア」、その両方を兼ね備えた「リーディングウェア」を目指す。



《企業概要》

株式会社西村プレジジョン
946-0019 福井県鯖江市丸山町3-5-18
代表取締役 西村 昭宏
<https://www.paperglass.jp/>

《関西のベンチャー企業である意義》

常にめざしているのは地場産業の活性化。こうした自社製品を自分で販売する取り組みが、同じように地域に広がって鯖江の眼鏡産業の活性化につながって欲しいと考えています。（代表取締役 西村 昭宏）

